



スナークギャラリー作品

宮城県仙台市青葉区落合 4-3-17 宮城県立こども病院ボランティアゆりかご 広報委員会発行



”なくてはならないボランティア”

こども病院院長 虻川 大樹

2025年3月28日に呉繁夫前院長の後任として院長を拝命しました。東北唯一の小児・周産期専門病院の舵取り役として、課せられた使命と責任の重さを改めて感じ、身の引き締まる思いであります。2003年に開院した当時は、医師21名、病床数88床の小さな病院でした。段階的開院、2016年の宮城県立拓桃園との統合を経て、現在では241床、医師約90名をはじめ約700名の職員による、東北地方になくてはならない小児総合医療・療育施設となりました。宮城のこども病院が産声を上げて以来、職員と一緒に病院を育て、こどもたちとご家族を見守って下さったボランティアの皆様へ心から感謝申し上げます。

2020年から始まったコロナ禍の数年間、当院のボランティア活動にとって存続すら危ぶまれる最大の危機でした。一方で、こども病院にボランティアさんがいてくれることの有難さに改めて気づかされた毎日でもありました。ボランティアさんの温かい笑顔や声がけに触れるたびに、優しい春の風が院内に吹き込まれたような安心感を覚えるとともに、ボランティアの皆様が当院になくてはならない仲間であると感じています。

開院当時の基本理念である「すべてのこどもにいのちの輝きを」、および設計理念である「元気の出るファミリーホスピタル」をこれからも高く掲げて、引き続き高度な小児医療・療育を実践してまいりたいと思います。ボランティアの皆様にも、これまで同様にこどもたちとご家族へのご支援をお願い申し上げます。



ありがとう♡ございました

ボランティアコーディネーターお二人へ 感謝の花束贈呈

さる3月14日活動表彰式典（愛子ホール）で、前任の大町千鶴さん前々任の佐藤直子さんへ、ボランティアゆりかご代表から感謝の気持ちをこめ花束と記念品を贈りました。

◀ 5代目 大町さん
2021年4月～2025年3月

4代目 佐藤さん▶
2017年4月～2021年3月



元気の出る ファミリーホスピタル目指して

副院長・成育支援局長 佐藤 篤

私は、2004年から宮城県立こども病院に勤務し、小児科の中でも血液の病気やがんを専門とする血液腫瘍科の医師として、診療に従事してまいりました。このたび成育支援局長という新たな立場をいただき、皆様とご一緒する多くの機会をいただけますことを大変うれしく思っております。皆様が担ってくださっている多様な活動のひとつひとつに対して、私の立場から少しでもお役に立てるよう努めてまいります。そして皆様と力を合わせて、引き続き当院を受診される子どもたちとご家族を支え、「元気の出るファミリーホスピタル」を作っていきたいと思います。至らぬ点多々あろうかと存じますが、皆様のお知恵やお力をお借りして、よりよい支援につなげていければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

つ な ぐ

おこさんご家族ファーストで



4月よりボランティアコーディネーターになりました小林香と申します。

4月15日に行われました令和7年度のボランティア募集説明会で虻川院長より6代目のコーディネーターと紹介され、20年以上続けてきたこども病院ボランティアのみなさんの活動をこれから縦にも横にも、まさに「つなぐ」役目なのだとその使命に改めまして身が引き締まる思いです。みなさんが献身的に活動されている姿、来院されるおこさんとご家族ファーストの対応に、そして何より楽しそうに活動されている姿に本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今年度、40名の方から新規登録の希望を受け、登録人数が200名を超えることとなりました。みなさんおひとりおひとりがお持ちのお力を存分に発揮していただけるよう、日々努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

再開♡移動図書 ぽっかぽか

活動紹介

入院中のおこさんと親ごさんの元へ、絵本や紙芝居の楽しさをお届け。火、水、金曜日の午後に各階病棟を訪問しています。



◁ 水曜担当
のみなさん



2階病棟 火曜担当

訪問できるお部屋が沢山あるといいな、気に入った本を手渡すことができるいいな、などと思いドキドキしながらお部屋をノックします。次回の本のリクエストをもらったり、こども図書室に借りにくるお子さん（ご家族）がいっぱいしゃればバンザイです。一人でも多くのお子さんに本の楽しさを届けたいと活動しています。

4階病棟 金曜担当

久しぶりの読み聞かせは「アンパンマン」。お子さんは歓声をあげ、お父様も一緒に盛り上げてくださいました。入院中のお子さんとそのご家族と、そして私たちボランティアがお話の世界で心がぽっかぽかになる時間を大事にしたいです。

3階病棟 水曜担当

コロナ禍で活動が中止の期間を経て、久々に3階病棟におじゃました時は少し緊張しましたが、お子さんの笑顔を見たら、すぐいつも通りに、戻ることができました。もうすぐ2才になる親子が参加してくれました。絵本の掛け声に合わせて一緒に声をあげてくれるお母さん達に励まされて絵本の読み聞かせも力が入りました。



ホッとできるひととき ハンドトリートメント



ご予約をいただいた水曜日にボランティアハウスで、主に入院されている患者様のお母様にハンドトリートメント（マッサージ）をさせていただいております。

育児、見守りを頑張っておっしゃるお母様に一時でもホッと出来る時間を作れたらと思います。柑橘系等の芳香浴をしていただきながら一人10分位トリートメント、終了後時間があればお茶を飲んでいただいています。初対面で緊張気味のお母様も終了する頃には柔らかな笑顔を見せてくださり、私も嬉しい気持ちになります。興味のある方はご予約をお待ちしています。

水曜午後図書 岡田 美佐恵

開催日	行事予定	内容
2025年7月	七夕飾り	
7月9日（水） 18日（金）	ボランティア研修 「こどもとの関わりについて」 上席主任保育士 川部 早江さん	
8月8日（金）	夏祭り・花火	
9月3日（水）	まほうの広場コンサート	
10月30日（木） ～31日（金）	ハロウィン（拓桃館、本館）	
11月12日（水） ～14日（金）	芸術祭（愛子ホール） コンサート（まほうの広場）	
12月23日（水） ～24日（木）	クリスマス会（本館/拓桃館）	
2026年 1月7日（水）	餅つき（本館）	
2月3日（火）	豆まき（本館・拓桃館）	

令和7年度 運営委員



高橋 賢司 火曜午前 案内 担当
田中 悦子 金曜午前 図書 担当
間山 麻里 金曜午後 外来プレイ
～1年間よろしく願いいたします～

編集 後記

▶この春から、移動図書「ぽっかぽか」や、お話し会などの活動が再開されました ▶好奇心あふれる



こどもたちの、輝く瞳とはじける笑顔が瞳に浮かびます ▶そっと見守り、ともに成長したいものです。